

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100			
	2	職員の配置数は適切であるか	100			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	33	33	33	玄関や活動スペースはバリアフリーだが、静養室や相談室の入り口が段差、トイレが引き戸で車椅子では厳しいと思われる。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	67	17	17	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	83	17		面談等でも意向等を聞き、業務改善に努めているようにしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			100	ホームページがないので、事業所内に掲示している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			100	第三者による外部評価は実施していないので、今後は検討していきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100			オンラインでの研修参加や子ども部会のミニ講座(YouTube)を活用しての内部研修等を行った。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	83	17		毎月の会議の時に話し合って作成しているが、評価する人数が多い時は作成が遅れることがある。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		33	67	標準化されたシートではないので今後は検討していきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100			会議等でスタッフ全員で意見を出し合って作っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	67	33		長期休み時等は子供会議を開催し子供達の意見も取り入れながら行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	67	33		調理(昼食・おやつ)訓練や買い物訓練等の外出も実施しているが、きめ細かいかは分からない。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	83	17		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100			支援開始前の午後にミーティングを行っている。(長期休み時等は朝に行っている)
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	83	17		基本は支援終了後にミーティングを行っているが、業務が長引いた時は翌日に行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100			

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	67	33		モニタリングが多い月は、遅れてしまう事もあった。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	67	33		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100			児発管だけでなく現場のスタッフも一緒に参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	83	17		ご家族の協力もあり出来ているが、学校の先生の勘違いで利用日なのに一人で家に帰ってしまった事があった。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	33	17	50	該当する児童がいないので、受け入れる場合は体制を整える必要はある。数カ所の事業所に断られた、てんかん発作の利用者を受け入れて、家族との協力のもと連絡体制をとっている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		33	67	連携は図りたいが、ご家族と相談員さんからの情報になっている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			100	対象の児童がいないが移行先から問い合わせがあった時は情報を提供したい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			100	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			100	平日は交流が難しいので長期休みに交流する機会を設けられたら良いと思う。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	50	33	17	コロナの影響もあり参加する機会が少なかった。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	83	17		送迎時やお迎え時に報告できるようにしている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			100	研修に参加し支援を行える体制を整えたい。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100			契約時等に行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	83	17		面談時や来所時、電話等では相談に応じている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			100	実施できていないので共有の場の提供も今後、考えて行きたい。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	83	17		迅速に対応できるようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100			広報誌を配布している。
	35	個人情報に十分注意しているか	83	17		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	67	33		聴覚障害の児童に対し、コロナ禍でマスクをしていて口話が厳しいので筆談等に対応した。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			100	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		17	83	保護者への周知は出来てないので、今後実施していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100			3月と9月に実施
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100			入社時に研修すると会議時の研修が行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			100	該当する児童がいないので計画にも記載していなかったが、必要に応じて今後実施していきたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			100	該当する児童がいないので必要に応じて今後実施していきたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	67	33		事例集の作成はしていないが、ヒヤリハット報告書にて共有している。